

## 季節のいきもの

## ミニ彩湖はトンボ天国!!

蒸し暑く雨の多い6月。ちょっと油断するとセンターの周りはジャングルのようになります。緑が濃くなるこの頃、ミニ彩湖の周りは虫たちで賑やかになってきます。今回はここで観察できるトンボたちの話をします。

今年は4月後半からシオカラトンボやイトトンボの仲間が飛び始めました。腹が青白い色の「シオカラトンボ」は皆さん見たことありますよね。ではメスは見たことありますか？シオカラのメスはオスと違って、薄い黄土色に黒っぽい線が入った色をしています（私はトラ柄だと思っています）。この腹の色が麦わら帽子に見えたのでしょうか、メスは「ムギワラトンボ」と呼ばれます。シオカラトンボに少し遅れて現れるのが「コシアキトンボ」と「ショウジョウトンボ」。



腹の先がコバルトブルーに光るアオモンイトトンボ



トラ柄？シオカラトンボ(メス)

「コシアキ」は黒い腹のまん中だけが白く、「腰があいている」ように見えることからこの名前がついています。胸も腹も真っ赤なのが「ショウジョウトンボ」。伝説上の赤いサル「猩々」になぞらえてつけられた名前です。よくアカトンボと間違われます（※1）。その後ギンヤンマや



黒白もようコシアキトンボ

チョウトンボも加わって、6月中旬ころにはミニ彩湖はたくさんのトンボで賑わいます。チョウトンボはその名の通りチョウのような翅を持ち、青紫色に光る翅をヒラヒラさせて飛ぶ美しいトンボです。しかし残念なことに、台風19号でミニ彩湖が冠水した翌年から見られなくなってしまいました。今年は帰ってきてくれることを



美しいチョウトンボ

祈るばかりです。8月後半ころからアキアカネが見られるようになり、9月中旬ころには虫網を振れば入るんじゃないかと思うくらい、たくさん飛びます。しかし、昨年は特に数が少なくてびっくりしました。今年はたくさん飛んでくれるといいなと思っています。夏休みが終わったら、学校のプールを外からそーっとのぞいてみて下さい。産卵シーンが見られるかもしれませんよ（A.T）。



大きい！速い！きれい！ギンヤンマ

（※1）アカトンボ・・・アカネ属のトンボの総称。アキアカネ、ナツアカネが有名。

## こうざあんない 講座案内(7月)

講座へは  
マスクを  
して参加  
してね!



カマリン

**新型コロナウイルス対策のため予定変更の場合は、ホームページでお知らせします!**

### 7月18日(日)「昆虫ウォッチング：夏」※雨天実施

木かげや草むらにいるトンボやチョウ、セミなどの虫たちの様子を講師の先生と一緒に観察しましょう。

◇対象：誰でも（小学2年生以下保護者同伴）定員20名

◇時間：10:00～12:00

◇参加費：100円（教材費・保険代）

◇持ち物：マスク、ぼうし、タオル、動きやすい服装  
（長そで、長ズボン）、飲み物、  
虫とりあみ、虫かごは貸出可



※採集した昆虫は持ち帰れません。観察ののち、もとの場所へ返します。

※申込受付：6月18日(金)から

### 7月27日(火)、28日(水)「昆虫標本をつくろう①」※雨天実施

昆虫標本の作り方を覚えて、夏休みの自由研究にしよう!昆虫の体のしくみもわかるよ!大人の方の参加も大歓迎です。(標本用の昆虫はセンターで用意します)

◇対象：誰でも（小学生以下保護者同伴）定員各回4名

◇時間：10:00～14:00

◇参加費：1,000円(材料費)

◇持ち物：筆記用具・マスク

※8月21日(土)11:00～14:00

標本の仕上げ作業を行います。両日とも参加できる方

※申込受付：6月27日(日)から



### ☆☆☆☆☆ 夏休みイベント予告! ☆☆☆☆☆

「夏休み☆彩湖わくわくクイズラリー」「彩湖☆わくわく2Days」などイベントを予定しています。詳しくはカワセミ通信7・8月号(合併号)をごらんください。

クイズラリー：7月22日(木)～8月29日(日) わくわく2Days：8月7日(土)、8日(日)

★申込方法：電話でお申込みください。来館受付は当面中止します。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。なお、お申込みは講座の1か月前の10時から受け付けています。

※問い合わせ・受付時間：Tel:048-422-9991 10:00～16:30

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページをご覧ください。

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)

